

(1) 世代に応じた食育の推進

乳幼児期から高年期までそれぞれのライフステージにおいて、必要な「食」に関する能力を習得していくことで、生涯を通じて心身共に健康で豊かな生活を営むことができますが、望ましい食生活が実践できていません。

例えば、子どもは命と食の大切さを理解するための体験が不足していたり、学生等の若者は知識と技術が不足しているために食が貧しい状況にあったり、高齢者では新鮮な食料の入手が困難な状況、買い物弱者が発生するなど世代により課題に特徴があります。

ア 子どもの食育支援

- ① 農作物栽培や家畜の世話、調理等、農業や食に関する体験活動の充実
(具体例)・食農教育サポーター(仮称)養成講座の開講とサポーターの登録
・食農体験農場の開設推進
・試験研究機関等府の施設を利用した農林漁業体験の実施
- ② 食に関する体験・学習できる施設等の情報提供
(具体例)・京都府のホームページでの紹介
- ③ 親子料理教室等の開催
(具体例)・食生活改善推進員や生活研究グループ等による親子料理教室
・食品関連団体と消費者団体の連携による親子での和菓子作り等体験教室(下記参照)
- ④ 地場産物の活用や郷土料理・行事食など地域の特色をいかした給食・調理実習の実施
(具体例)・生産者と学校を結ぶコーディネーターの育成
・学校、保育園等給食での郷土料理・行事食の提供支援

【親子で和菓子作りに挑戦】

生活協同組合と食品産業協会による親子手作り教室では、小学生とその親が、和菓子職人さんの手ほどきを受けて、季節にちなんだ和菓子作りに取り組みました。職人さんの見事な技を間近に見てから、自ら挑戦。なかなか同じようにはいきませんが、コツを教えてもらい、上手に仕上げました。



- ⑤ 食生活改善推進員や生活研究グループ、生産者等地域の食の専門家の協力を得た食育の取組
 (具体例)・地域の人材を活用した体験学習等の実施 (下記参照)
 ・食生活改善推進員活動の支援
- ⑥ 食に関する指導と給食の管理を行う栄養教諭の配置拡充、採用の維持
 (具体例)・栄養教諭採用試験の実施
- ⑦ 食育に関する教職員の意識向上及び資質向上
 (具体例)・教職員研修の実施
 ・地域別食育・学校給食研修会の実施
 ・学校給食研究大会の開催
- ⑧ 他校種(幼・保、小、中、高等)と連携した食育の推進
 (具体例)・小学校、高校、大学が連携した「パートナーズクール事業」の実施
 ・高校職業学科における幼児、児童等の農作業等体験受け入れ
- ⑨ あらゆる機会を通じた「食」に関する指導
 (具体例)・食に関する出前講座の実施
 ・学校給食を活用した食育の推進

【大豆の食育授業】

小学校4年生が大豆の苗を定植し、農作業の大変さがわかったようです。この後、大豆を収穫して、味噌に加工します。



【郷土料理に興味津々】

小学校3年生が地元農産加工グループから郷土料理「ほお葉ご飯」の説明を聞き、作り方の指導を受けました。



【京都府内各地の郷土料理や行事食の一例】

バラ寿司	春祭りや田植え、婚礼祝宴などのハレの日によく作られる丹後地方の名物です。
けんちん汁	綾部市上林地区に伝わるこんぴら祭りの代表的な伝統料理です。
水無月	夏越の祓を行う6月30日に、氷を形どった三角形のういろうに邪気を祓うとされる小豆をのせた水無月を食べます。
いとこ汁	なす、小豆、かぼちゃの入った汁もので、8月13日の夜おしょうらいさん(ご先祖様の霊)に供えます。
古老柿なます	吊さずに柿屋で広げて乾燥させた干し柿である古老柿 <small>ころがき</small> の入ったなますです。

『京ごちそうさま お母さんの味』(京都府生活研究グループ連絡協議会) 参照